



## 学校体育功労者賞を受賞して

多良木町立多良木中学校 前校長 馬場 哲也

この度は、令和5年度熊本県学校体育功労者賞をいただきまして、感謝いたします。これまでに関わっていただいた方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

私は、教諭として小学校勤務が主でした。あしきた青少年の家の専門職員時代は、中学校の集団宿泊教室の対応が楽しみでした。朝や夕方の時間に自分の部活の練習を自主的に生き生きと動いている生徒たちに魅力を感じました。中学校で子どもたちの成長にかかわりたい、将来にふれていきたいと強く感じたのを思い出します。

学校現場に戻ったのが、あさぎり町立上中学校（現在あさぎり中学校）でした。教頭として赴任しましたが、3年後の閉校・統合へ向けて環境整備等も含めて、学校体育にかかわらせていただきました。選択体育の授業をいかに生涯体育につなげるか体育主任と話し込んだことが懐かしく思い出されます。体育担当教諭は、学級担任と生徒会担当も受け持ち、対外の陸上関係の業務等、スーパーティーチャーの働きをしていました。（現在、体育保健課の松川紘士指導主事です。）出張も多く、体育授業の補欠に連携を図りながら取り組めたことは、何よりの嬉しさがありました。松川指導主事ありがとう。今後の活躍も楽しみに期待しています。

上中学校（あさぎり中学校）のグラウンドは、中体連駅伝大会の発着場です。試走で訪れる各学校との安全面等の対応は、教頭としても意気を感じる仕事でした。球磨人吉中体連の担当者や関係職員の思いのこもった準備・当日の運営等で毎回、大会は成功に導かれていきました。球磨教育事務所へ異動してからは、指導主事として大会運営にかかわれたことは毎年、一番楽しみにしていた業務でした。

平成30年から五木中学校に校長として赴任してからは、球磨人吉中体連に副会長として携わらせていただきました。堤俊介会長、湊田康正副会長には大変お世話になり、「中体連・中体研はどうあるべきか」「子どもたちにとってどうか」深く考えさせていただきました。その間、コロナによる中体連大会の中止に対する対応等、情報収集・他団体等との連携・判断力の確かさに、学校体育への情熱と覚悟を学ばせていただきました。

令和3年から多良木中学校に赴任し、球磨人吉中体連会長の立場で仕事をさせていただきました。県中体連陸上大会やコロナ禍での中体連大会の開催等、難題がありましたが、村山茂中体連副会長（現会長）はじめ井上達晃中体連理事長、犬童耕平中体研理事長及び各中学校体育担当の先生方のおかげをもちまして、遂行することができました。かかわっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

また、学生時代からの親友で、教職人生も公私ともに影響を与えてくれた湊田尚史 前人吉第二中学校長と今回一緒に受賞させていただき、ありがたく、誇りに思います。

最後になりましたが、今後とも「子どもたちにとってどうか」生徒たちの【心身の成長】【健全育成】を推進されることを願っています。会の末永い発展を祈念しまして、お礼の言葉とさせていただきます。